様式第２号（第３条関係）

倉吉市議会政務活動費収支報告書（兼精算書）

令和７年４月９日

倉吉市議会議長　様

議員名　　竺　原　晶　子

倉吉市議会政務活動費の交付に関する条例第５条第１項（第２項）の規定に基づき、次のとおり令和６年度政務活動費収支報告書を提出します。

１　収　入

政務活動費　　２４０，０００　円

２　支　出

（単位：円）

項　　目	金　　額	備　　考
調査研究費	8,844	タブレット端末に係る通信料負担金
研修費	7,900	研修延期案内による払戻・取消手数料
広報費		
広聴費		
要請・陳情活動費		
会議費		
資料作成費		
資料購入費		
人件費		
事務所費		
合　計	16,744	

（注）備考欄には、主たる支出の内訳を記載する。

３　交付上限額（在職した月数×２万円）　　２４０，０００　円

４　残　額（収入額 ― 支出額又は交付上限額のいずれか低い額）　　２２３，２５６　円

資料1

領収書等添付一覧

（令和6年度報告分）

科　　目	調査研究費	
整理番号	主な支出内容	支出金額（円）
1	タブレット端末に係る通信料負担金	8,844
この表の合計		8,844 円

資料2

領収書等整理表

（令和6年度報告分）

科　　目	調査研究費
整理番号	1

領収書等添付欄

㊞令和 6年度　領収証書

加入者名	倉吉市会計管理者
口座番号	01490-7-960024
納付番号	20240001891001000000
納付書番号	18910
金額	17,688 円
納入者氏名	竺原　晶子
所属名	他部局議会事務局
納入期限	
管理番号	111946
摘要	令和6年度タブレット端末に係る通信料負担金（4月～3月分） @2,948×1/2×12月＝17,688円

切り取らないで郵便局・金融機関・コンビニエンスストアにお出しください

上記の金額を領収しました。

領収日付印

出納済 7.3.21 (5) 山陰合同・倉吉市役所

※ 納付場所・お問い合わせ先は裏面に記載

収納代行会社
地銀ネットワークサービス㈱(CNS)
鳥取県倉吉市 312037

収入印紙不要（納付者保管）

※1/2で按分

17,688円×1/2＝8,844円

支　払　先	倉吉市
領収書等添付合計金額	8,844 円

資料1

領収書等添付一覧

（令和6年度報告分）

科　　目	研修費	
整理番号	主な支出内容	支出金額(円)
1	研修延期案内による払戻手数料及び取消手数料	7,900
この表の合計		7,900円

資料2

領収書等整理表

（令和6年度報告分）

科　　目	研修費
整理番号	1

領収書等添付欄

別紙1

支　払　先	全日本空輸株式会社
領収書等 添付合計金額	7,900 円

領収書

WEB 923d91d5e3-RBLE1-035012-0
表示日 2024年09月12日(木)

ジクハラ　シヨウコ　様

金額	¥7,900- (税込) クレジット支払い ※取消手数料は消費税の課税対象外です。 (消費税10%対象 ¥440- (税込))
但し	払戻手数料および取消手数料
手数料収受日	2024年09月12日(木)

航空券番号	1010409291719015	1010409291719026
照会番号	XHNE43	

上記、正に領収いたしました。

ANA | A STAR ALLIANCE MEMBER

全日本空輸株式会社　All Nippon Airways Co.,Ltd.
登録番号：T1010401099027

航空券明細

WEB 923d91d5e3-RBLE1-035012-0
表示日 2024年09月12日(木)

手数料

払戻手数料	取消手数料
¥440-	¥7,460-

ご旅程

搭乗日	便名	区間	クラス	利用運賃
2024年10月28日(月)	ANA2529	大阪(神戸) - 沖縄(那覇)	普通席	(往復)スーパーバリュー55L
2024年10月31日(木)	ANA2530	沖縄(那覇) - 大阪(神戸)	普通席	(往復)スーパーバリュー55L

搭乗者名

搭乗者名
ジクハラ シヨウコ様

第20回全国地方議員交流研修会

参加申込フォーム

第20回全国地方議員交流研修会in沖縄

【延期のおしらせ】

※予想される総選挙との関係で前回ご案内の開催日を10月29日（火）から2025年1月29日（水）へと3か月延期致しました。

■ご案内

世界の変化は明瞭となっています。これまで世界を支配してきた欧米日の「先進国」が衰退し、中国、インドなどこれまで抑圧されてきたグローバルサウスの国々に世界経済と政治の重心が移っています。

ロシア・ウクライナ戦争から2年半が経ち、イスラエル・パレスチナ戦争も停戦にいたらずに莫大な犠牲が出続けています。世界の格差は拡大して飢餓人口は7億3500万人に、難民数も1億人を超えたといわれています。戦争と貧困をなくすために、日本がとるべき道が厳しく問われています。中国脅威、「台湾有事」が喧伝され、防衛費は倍増、「専守防衛」は事実上放棄、自衛隊ミサイル基地が全国で次々と配備され、大規模な日米合同軍事演習も行われています。その一方で、異常な円安、物価高のなかで国民生活や経営は圧迫されています。財政難を理由に社会保障の後退が進み、地域経済は厳しく、農山村は存続の淵においやられています。戦争への不安や生活苦からの打開を求める国民の願いに、政府も。また与野党お政党も応えられず、国民の政治不信はますます深まっている状況です。住民の生活と福祉に密着している地方・自治体から、国の政治を変えていかなければならないと思います。

今年の全国地方議員交流研修会は、「二度と戦場にさせない」と平和を希求する県民意識が強く示されている沖縄県で開催します。沖縄県は県独自の地域・平和外交を推進し、アジアとの経済交流による地域経済の発展とアジアの平和への展望を模索しています。一日目は、玉城デニー・沖縄県知事の基調講演のほか、各方面の特別報告での研修、二日目は５つの分科会での研修・討論を行います。昨年からすすんだ「食料自給の確立を求める自治体議員連盟」、「日中不再戦自治体議員の会」をさらに発展させるなど、今後の連携と行動についても話しあいます。三日目は沖縄戦の戦跡めぐりと米軍基地・辺野古基地建設の視察を行います。

沖縄現地の自治体議員のみなさんが受け入れを準備されています。全国の党派をこえた自治体議員同士の研修・交流を深め、平和と国民生活、地域主権を守る運動を前進させましょう。みなさまの積極的なご参加をお待ちしております。

2024年8月吉日

主催　第20回全国地方議員交流研修会実行委員会

共同代表　北口雄幸　（北海道議会議員）

藤本眞利子（和歌山県議会議員）

山内末子　（沖縄県議会議員）

第20回 全国地方議員交流研修会 in 沖縄

2日目 火

全体会

沖縄タイ

那覇市久茂地2

Tel 098-851-5185

名刺交換会 18:00 — 19:30

沖縄県青年会

3日目 水

分科会

全体会 14:00—16

沖縄県市町村自治会館

沖縄県那覇市旭町116-37

Tel 098-862-8181

4日目 10月9日(木)

●開会挨拶

●来賓・各界からのご挨拶

●記念講演

「沖縄と日本を再び戦場にさせないために」

玉城デニー 沖縄県知事

●問題提起

「欧米G7からグローバルサウスの時代へ

われわれはどうするか?」

羽場 久美子 さん (青山学院大学名誉教授)

「食料自給向上のための提言」

鈴木 宣弘 さん (東京大学院教授)

●特別報告

○「相次ぐ米兵犯罪・日米地位協定の抜本的改定を求める」

沖縄県 (検討中)

○「米軍基地・自衛隊基地に翻弄される沖縄」

三上 智恵 さん (映画監督)

○日中不再戦 九州自治体議員の会

○食料自給を求める自治体議員連盟 他

●基調提案 実行委員会

沖縄県平和祈念公園「平和の礎」/「さざなみの池(平和の火)」

沖縄県糸満市摩文仁444

中央の噴水から「さざなみの池」に流れ落ちる水は波紋をつくり、刻銘板まで放射状に広がっていくようデザインされています。その波は"平和の波"となって世界中に広がっていくようにとの願いが込められています。「平和の火」は、沖縄戦最初の米軍上陸地である阿嘉島で採取した火と、被爆地・広島・長崎からいただいた火を合わせたもので、慰霊の日などに灯されます。

参加費

都道府県市区議会議員 15,000円／町村議会議員 5,000円／一般 1,000円／大学生・高校生以下 無料

別途希望者のみ ※名刺交換会費 +6,000円 ※2日目の弁当代(お茶付き) +1,000円

※フィールドワーク参加費 実費 (おおよそ3,000〜4,000円)

申込方法

●第20回全国地方議員交流研修会 下記webサイトの専用申込みフォームからお申込みください。

https://req.qubo.jp/kokuminrengo/form/E12hXg9Q 右のQRコードからも申し込めます。

●FAXでのお申込みは、FAX申込み用紙をダウンロード、印刷してお申込みください。

●申込み用紙の郵送をご希望の方は、下記事務局までご連絡ください。

問合せ

全国実行委員会事務局 自主・平和・民主のための広範な国民連合全国事務局

〒212-0011 川崎市幸区幸町4-8 青柳ビル2F

TEL. 090-8588-8307 (担当:迫田) E-mail: giin@kokuminrengo.net FAX. 044-541-2066

主催:第20回 全国地方議員交流研修会実行委員会

共同代表:北口 雄幸 (北海道議会議員) 藤本 眞利子 (和歌山県議会議員) 山内 ふじ子 (沖縄県議会議員)

第20回 全国地方議員交流研修会のご案内

世界の変化は明瞭となっています。これまで世界を支配してきた欧米日の「先進国」が衰退し、中国、インドなどこれまで抑圧されてきたグローバルサウスの国々に世界経済と政治の重心が移っています。

ロシア・ウクライナ戦争から2年半が経ち、イスラエル・パレスチナ戦争も停戦にいたらず莫大な犠牲が出続けています。世界の格差は拡大して飢餓人口は7億3500万人に、難民数も1億人を超えたといわれています。戦争と貧困をなくすために、日本がとるべき道が厳しく問われています。中国脅威、「台湾有事」が喧伝され、防衛費は倍増、「専守防衛」は事実上放棄、自衛隊ミサイル基地が全国で次々と配備され、大規模な日米合同軍事演習も行われています。その一方で、異常な円安、物価高のなかで国民生活や経営は圧迫されています。財政難を理由に社会保障の後退が進み、地域経済は厳しく、農山村は存続の淵においやられています。戦争への不安や生活苦からの打開を求める国民の願いに、政府も、また与野党の政党も応えられず、国民の政治不信はますます深まっている状況です。住民の生活と福祉に密着している地方・自治体から、国の政治を変えていかなければないと思います。

今年の全国地方議員交流研修会は、「二度と戦場にさせない」と平和を希求する県民意思が強く示されている沖縄県で開催します。沖縄県は県独自の地域・平和外交を推進し、アジアとの経済交流による地域経済の発展とアジアの平和への展望を模索しています。

一日目は、玉城デニー・沖縄県知事の基調講演のほか、各方面の特別報告での研修、二日目は5つの分科会での研修・討論を行います。昨年からすすんだ「食料自給の確立を求める自治体議員連盟」、「日中不再戦自治体議員の会」をさらに発展させるなど、今後の連携と行動についても話しあいます。三日目は沖縄戦の戦跡めぐりと米軍基地・辺野古基地建設の視察を行います。

沖縄現地の自治体議員のみなさんが受け入れを準備されています。全国の党派をこえた自治体議員同士の研修・交流を深め、平和と国民生活、地域主権を守る運動を前進させましょう。みなさまの積極的なご参加をお待ちしております。

2日目：10月30日（水） 9:30―16:00（9:00開場） 会場：**沖縄県市町村自治会館** 那覇市旭町116-37 Tel: 098-862-8181

分科会 9:30―13:00

● 第1分科会　日中不再戦 自治体・議員の役割
問題提起：羽場 久美子 さん（青山学院大学名誉教授）
沖縄県の平和・地域外交の実践／全国の米軍、自衛隊基地強化の実態を知る／日中不再戦の自治体議員のネットワークを

● 第2分科会　農業・農村を守り、食料自給を確立するために
問題提起：鈴木 宣弘 さん（東京大学大学院教授）
「全国各自治体での実践、世論喚起のために」

● 第3分科会　岐路に立つ日本の社会保障
地域のケアをどう支えるか
問題提起：伊藤 周平 さん（鹿児島大学教授）

● 第4分科会　「こども計画策定」にあたって
こどもの貧困の解消へ
問題提起：山内 優子 さん（沖縄子どもの貧困解消ネットワーク共同代表）
「沖縄の子どもの貧困から見えてくるもの」
問題提起：木本 邦広 さん（沖縄県教職員組合 委員長）
「教員の働き方改革について」

● 第5分科会　防災・復興、原発問題を考える
地域主体の再生へ
事例報告：能登半島地震から10か月の現状
問題提起：小口 幸人 さん（南山法律事務所弁護士）
「支援制度から災害への備えを考える」

全体会 14:00―16:00

● 各分科会報告　● 討論、アピール採択　● まとめ・閉会

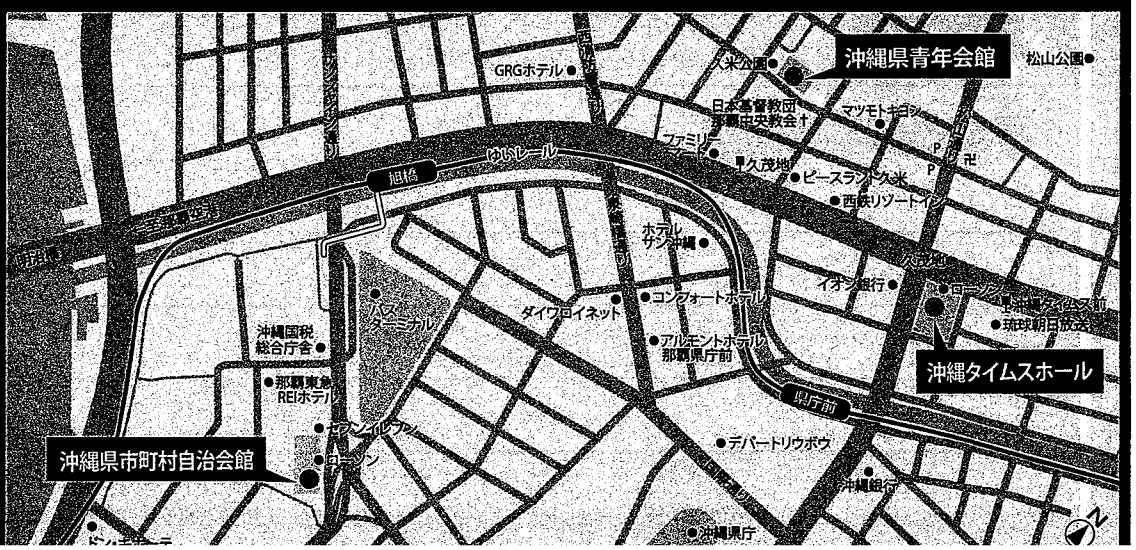
3日目：10月31日（木）
オプショナル沖縄現地フィールドワーク（※参加費別）
Aコース：沖縄戦をたどる／Bコース：米軍基地と辺野古現地視察

各会場へのアクセス

沖縄タイムスホール
ゆいレール 「県庁前駅」から徒歩３分
バス 「沖縄タイムス前」バス停下車 徒歩２分

沖縄県青年会館
ゆいレール 「県庁前駅」から徒歩５分
バス 「久茂地」バス停下車 徒歩2分

沖縄県市町村自治会館
ゆいレール 「旭橋駅」から陸橋直結 徒歩3分
バス 「那覇バスターミナル」下車 徒歩3分



Gmail 竺原しょうこ <jikuhara.shoko@gmail.com>

第２０回全国地方議員交流研修会へのお申込みありがとうございました。

1 件のメッセージ

第２０回全国地方議員交流研修会事務局　迫田富雄 <giin@kokuminrengo.net> 2024年8月24日 20:50
To: jikuhara.shoko@gmail.com

第２０回全国地方議員交流研修会へのお申込みありがとうございました。確かに受付ました。
なお、参加費及び名刺交換会、フィールドワークの参加費については前納をお願いしています。
　後日、郵便振替用紙を郵送しますので、ご送金をお願いします。一旦お申込みのいただいた後、事情により欠席となり、開催当日前にキャンセルの連絡をいただければ必ずご返金致します。（その際に返金手数料はご本人にご負担をお願いします）

お申込み番号：000017

■氏名
竺原晶子

■シメイ
ジクハラショウコ

■参加種別
議員

■自治体名
倉吉市

■会派名
新政会

■所属委員会
厚生文教常任委員会　予算決算常任委員会　地域の賑わい創出対策特別委員会　議会だより編集委員会

■肩書

■住所(郵便番号から)
鳥取県倉吉市耳594-1

■電話（できれば携帯番号）
[redacted]

■メールアドレス
[redacted]

■FAX

■第１日（10月30日）全体会
出席

■第１日　名刺交換会
出席

■第２日（30日・水）分科会
出席

■出席分科会（第1志望）
第４「『こども計画策定』にあたって　こどもの貧困の解消へ」

■出席分科会（第2志望）
第３「岐路に立つ日本の社会保障　地域のケアをどう支えるか」

■第２日　全体会
出席

■第２日　昼食弁当
注文する

■第3日　オプション　現地フィールドワーク
参加する

■現地フィールドワークの選択
b　米軍基地と辺野古現地視察

第20回 全国地方議員交流研修会 in 沖縄

【延期のお知らせ】 ※予想される総選挙との関係で前回ご案内の開催日を10月29日（火）から2025年1月29日（水）へと3カ月延期致しました。

変更後の案内

●問題提起
「欧米G7からクローバルサウスの時代へ
われわれはどうするか？」
羽場 久美子さん（青山学院大学名誉教授）

「食料自給向上のための提言」（オンライン）
鈴木 宣弘さん（東京大学教授）

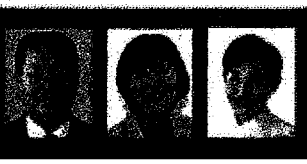
●特別報告
○「米軍基地・自衛隊基地に面する自治体議員の会」
三上 智恵さん（映画監督）

○日中不再戦　九州自治体議員の会
○食料自給の確立を求める自治体議員連盟　他
●基調提案　実行委員会

沖縄県平和祈念公園「平和の礎」／「さざなみの池（平和の火）」
沖縄県糸満市摩文仁444
中央の噴水から「さざなみの池」に流れ落ちる水は波紋をつくり、新たな波で世界に広がっていくようデザインされています。その波は「平和の波」となって世界中に広がっていくようにとの願いが込められています。「平和の火」は、沖縄戦最初の米軍上陸地である阿嘉島で採取した火と、激戦地・広島・長崎からいただいた火を合わせたもので、慰霊の日から灯されます。

参加費	都道府県市区議会議員 15,000円／町村議会議員 5,000円／一般 1,000円／大学生・高校生以下 無料 別途希望者のみ ※名刺交換会費 +6,000円　※2日目の弁当代（お茶付き）+1,000円 ※フィールドワーク参加費 実費（おおよそ3,000～4,000円）
申込方法	●第20回全国地方議員交流研修会 下記webサイトの専用申込みフォームからお申込みください。 https://req.qubo.jp/kokuminrengo/form/E12hXg9Q　右のQRコードからも申し込めます。 ●FAXでのお申込みは、FAX申込み用紙をダウンロード、印刷してお申込みください。 ●申込み用紙の郵送をご希望の方は、下記事務局までご連絡ください。 第1次締切 12月20日
問合せ	全国実行委員会事務局 自主・平和・民主のための広範な国民連合全国事務局 〒212-0011 川崎市幸区幸町4-8 青柳ビル2F TEL. 090-8588-8307（担当：迫田）　E-mail: giin@kokuminrengo.net　FAX. 044-541-2066

主催：第20回 全国地方議員交流研修会実行委員会



共同代表　北口 雄幸（沖縄県議会議員）　藤本 貴利子（那覇市議会議員）　山内 末子（沖縄県議会議員）

第20回 全国地方議員交流研修会のご案内

世界の変化は明瞭となっています。これまで世界を支配してきた欧米日の「先進国」が衰退し、中国、インドなどこれまで抑圧されてきたグローバルサウスの国々に世界経済と政治の重心が移っています。

ロシア・ウクライナ戦争から2年半が経ち、イスラエル・パレスチナ戦争も停戦にいたらず莫大な犠牲が出続けています。世界の格差は拡大して飢餓人口は7億3500万人に、難民数も1億人を超えたといわれています。戦争と貧困をなくすために、日本がとるべき道が厳しく問われています。中国脅威、「台湾有事」が喧伝され、防衛費は倍増、「専守防衛」は事実上放棄、自衛隊ミサイル基地が全国で次々と配備され、大規模な日米合同軍事演習も行われています。その一方で、異常な円安、物価高のなかで国民生活や経営は圧迫されています。財政難を理由に社会保障の後退が進み、地域経済は厳しく、農山村は存続の淵においやられています。戦争への不安や生活苦からの打開を求める国民の願いに、政府も、また与野党の政党も応えられず、国民の政治不信はますます深まっている状況です。住民の生活と福祉に密着している地方・自治体から、国の政治を変えていかなければないと思います。

今年の全国地方議員交流研修会は、「二度と戦場にさせない」と平和を希求する県民意思が強く示されている沖縄県で開催します。沖縄県は県独自の地域・平和外交を推進し、アジアとの経済交流による地域経済の発展とアジアの平和への展望を模索しています。一日目は、玉城デニー・沖縄県知事の基調講演のほか、各方面の特別報告での研修、二日目は5つの分科会での研修・討論を行います。昨年からすすんだ「食料自給の確立を求める自治体議員連盟」、「日中不再戦自治体議員の会」をさらに発展させるなど、今後の連携と行動についても話しあいます。三日目は沖縄戦の戦跡めぐりと米軍基地・辺野古基地建設の視察を行います。

沖縄現地の自治体議員のみなさんが受け入れを準備されています。全国の党派をこえた自治体議員同士の研修・交流を深め、平和と国民生活、地域主権を守る運動を前進させましょう。みなさまの積極的なご参加をお待ちしております。

9:30－16:00（9:00開場）　会場：沖縄県市町村自治会館 那覇市旭町116-37 Tel.098-862-8181

分科会　9:30－13:00

● **第1分科会　日中不再戦 自治体・議員の役割**
問題提起：羽場久美子さん（青山学院大学名誉教授）
沖縄県の平和・地域外交の実践／全国の米軍、自衛隊基地強化の実態を知る／日中不再戦の自治体議員のネットワークを

● **第2分科会　農業、農村を守り、食料自給を確立するために**
問題提起：鈴木宣弘さん（東京大学大学院教授）
「全国各自治体での実践、世論喚起のために」オンライン

● **第3分科会　岐路に立つ日本の社会保障**
地域のケアをどう支えるか
問題提起：伊藤周平さん（鹿児島大学教授）

● **第4分科会　「こども計画策定」にあたって**
こどもの貧困の解消へ
問題提起：山内優子さん（沖縄子どもの貧困解消ネットワーク共同代表）
「沖縄の子どもの貧困から見えてくるもの」
問題提起：木本和広さん（沖縄県教職員組合 委員長）
「教員の働き方改革について」

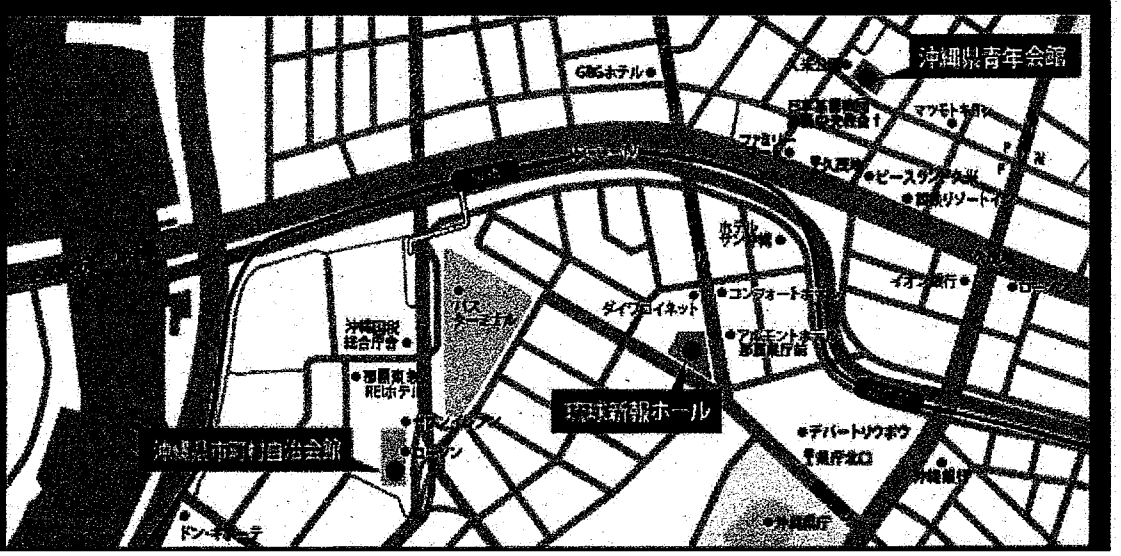
● **第5分科会　防災・復興、原発問題を考える**
地域主体の再生へ
基調報告：能登半島地震から10か月の現状
問題提起：小口幸人さん（南山法律事務所弁護士）
「支援制度から災害への備えを考える」

全体会　14:00－16:00
● 各分科会報告　● 討論、アピール採択　● まとめ・閉会

3日目：1月31日（金）
オプショナル沖縄現地フィールドワーク（※参加費別）
Aコース：沖縄戦をたどる／Bコース：米軍基地と辺野古現地視察

各会場へのアクセス

琉球新報ホール
ゆいレール「県庁前駅」から徒歩3分
バス「県庁北口」バス停下車 徒歩2分

沖縄県青年会館
ゆいレール「県庁前駅」から徒歩5分
バス「久茂地」バス停下車 徒歩2分

沖縄県市町村自治会館
ゆいレール「旭橋駅」から徒歩約5分
バス「那覇バスターミナル」下車 徒歩3分